

■内蔵トリマ

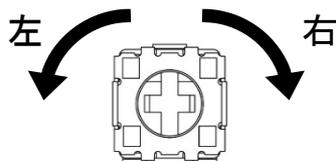
ドライバには4つのトリマが内蔵されています。トリマを回すことで、以下の設定をすることが可能です。

記号	機能名	内容	初期設定
VR1	内蔵トリマ1 (速度設定器)	トリマを右に回すと指令速度が大きくなります。 ※1 設定範囲：0~4000 [r/min] トリマによる速度設定の最大値はPn040により変更できます。 ※2	右 MAX
VR2	内蔵トリマ2 (加減速時間設定器)	トリマを右に回すと加減速時間が長くなります。 設定範囲：0.00~5.00 [s] トリマによる加・減速時間設定の基準速度はPn025により変更できます。 基準速度の初期値は3000 [r/min]です。	左 MAX
VR3	内蔵トリマ3 (トルク制限設定器)	トリマを右に回すとトルク制限値が大きくなります。 設定範囲：0~200%	右 MAX
VR4	内蔵トリマ4	未使用	—

※1 出荷時は内蔵トリマ1の機能は無効となっています。内蔵トリマ1を有効にする場合は、ユーザ定数(Pn000)を「4」に変更してください。初期設定は外部アナログ指令です。

※2 トリマによる速度設定の最大値は5000[r/min]まで設定可能ですが、モータが回転可能な速度は4000[r/min]までです。

【トリマの回転方向】



Pn020	加・減速時間指令元選択
Pn021~Pn024	加速時間1~2、減速時間1~2

モータの指令速度変更時の加速・減速時間を設定します。

この定数と加・減速時間基準速度(Pn025)の設定により、モータを設定範囲内の任意の時間で加速・減速することができます。

加速時間と減速時間はそれぞれ2つずつ設定することができ、加・減速時間の選択は、マルチファンクション入力：加・減速時間選択を割り付けた入力端子をON/OFFすることで、下表の組み合わせに対応した加・減速時間を指令することができます。

※詳しくは、速度指令パラメータPn000~Pn016およびトルク制限値パラメータPn030~Pn038の説明をご参照ください。

加・減速時間選択をOFFと設定した場合は加・減速時間1選択(Pn020)の設定を変更することで加・減速時間の指令方法を選択することができます。

加・減速時間選択	加・減速時間	
OFF	加・減速時間 指令元選択 (Pn020)	1：内蔵トリマ2 ※ 2：加速時間1(Pn021) 減速時間1(Pn022)
ON	加速時間2(Pn023) 減速時間2(Pn024)	

※内蔵トリマ2選択時は加速時間と減速時間は共通となります。

Pn020では、加・減速時間選択をOFFと設定した場合の指令元を設定します。設定値と指令元の対応表は以下のようになります。

設定値	加・減速度時間	内容
1	内蔵トリマ2	ドライバに内蔵されたトリマ(内蔵トリマ2)で加・減速時間を設定します。右へ回すと加・減速時間が増加し、右回転最大で5.00[s]となります。内蔵トリマ2選択時は加速時間と減速時間は共通となります。
2	加速時間1(Pn021) 減速時間1(Pn022)	加・減速時間2と同様に、Pn021とPn022で設定した値が加・減速時間となります。

Pn025 加減速時間基準速度

加減速時間の基準速度を設定します。

【加速時間】

加速時間は、モータ停止状態から加減速時間基準速度(Pn025)まで加速させる時間を設定します。

速度指令が基準速度以下の場合も、モータ停止から基準速度までの加速レートにて加速します。

【減速時間】

減速時間は、加減速時間基準速度(Pn025)からモータ停止まで減速させる時間を設定します。

速度指令が基準速度以下で運転している場合も、基準速度からモータ停止までの減速レートにて減速します。

